

# 第36期 中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで

京都発 → 世界へ



**TOWA株式会社**

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第36期中間報告書（2013年4月1日から2013年9月30日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスによるデフレ脱却と経済成長に向けて着実な歩みが見られました。また、懸案である財政再建に向けて予定通りに消費増税を行うことが決定されたこと等から、当面は市場での日本国債クレジットは信任され、日本経済再生へのシナリオは順調に進んでいると思われる状況にありました。

半導体業界におきましては、国内最大手の製造装置メーカーが、世界トップの同業メーカーと経営統合で合意し、日本の半導体企業各社に激震が走りました。半導体の市況そのものは、引き続きモバイル向けの依存度が高いものの需要は底堅く推移しており、DRAMの採算改善等も奏功し、比較的順調に推移いたしました。一方、スマートフォン市場にはやや成熟化が見られ、市場では早くも新しいアプリケーション登場への期待が高まっております。

このような状況のもと当社グループは、「マーケットイン型」の営業・生産・サービス網の構築を着実に進めてまいりました。また、コンプレッション技術によるモールドイングの優位性は徐々に市場浸透しており、パネルモールドや12インチFOWLP等の次世代パッケージに対するソリューションとしてはもちろん、量産ラインへの採用も進んでまいりました。北米拠点に設置いたしました評価用ラボを活用したファブレス企業へのアプローチでは、狙い通りに量産装置の受注に繋がり始め、加えて、ファブレス企業から直接当社にパッケージ技術開発の検討を依頼される等、紐帯関係も深まり、的確な開発テーマ選定にも大きく寄与しております。

以上のような取り組みを行ってきたことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、期初計画を上回り、83億28百万円（前年同期比23億87百万円、22.3%減）となりました。一方、収益面においては、シンギュレーション事業における製品の改良・改善や、コンプレッション技術を用いた次世代の製品開発を積極的に展開したこと等が売上原価を押し上げ、営業利益67百万円（前年同期比15億15百万円、95.7%減）、経常利益1億円（前年同期比14億23百万円、93.4%減）、四半期純利益52百万円（前年同期比14億15百万円、96.4%減）となりました。なお、中間配当につきましては見送りとさせていただきますが、期末配当につきましては、1株当たり10円を予定しております。

今後も株主の皆さまのご期待にお応え致すべく、ものづくりの真面に挑み、市場における確固たる地位を構築してまいりますので、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月



代表取締役会長

加藤和彦



代表取締役社長

岡田博和

# 連結財務諸表

## ○ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

| 科 目                 | 当第2四半期末<br>2013年9月30日現在 | 前期末<br>2013年3月31日現在 |
|---------------------|-------------------------|---------------------|
| <b>【 資 産 の 部 】</b>  |                         |                     |
| 流 動 資 産             | 14,055                  | 13,012              |
| 現金および預金             | 4,953                   | 5,608               |
| 受取手形および売掛金          | 5,720                   | 3,811               |
| たな卸資産               | 2,953                   | 3,293               |
| その他の                | 428                     | 300                 |
| 固 定 資 産             | 13,155                  | 12,884              |
| 有形固定資産              | 10,223                  | 10,216              |
| 建物および構築物            | 3,652                   | 3,684               |
| 土地                  | 4,184                   | 4,214               |
| その他の                | 2,387                   | 2,318               |
| 無形固定資産              | 535                     | 632                 |
| 投資その他の資産            | 2,396                   | 2,035               |
| 資産合計                | 27,210                  | 25,896              |
| <b>【負債および純資産の部】</b> |                         |                     |
| 流 動 負 債             | 5,660                   | 4,982               |
| 支払手形および買掛金          | 1,938                   | 1,337               |
| 短期借入金               | 1,022                   | 1,068               |
| その他の                | 2,699                   | 2,577               |
| 固 定 負 債             | 4,342                   | 3,841               |
| 長期借入金               | 3,037                   | 2,539               |
| その他の                | 1,305                   | 1,302               |
| 負債合計                | 10,002                  | 8,824               |
| 株 主 資 本             | 16,079                  | 16,276              |
| 資本金                 | 8,932                   | 8,932               |
| 資本剰余金               | 462                     | 462                 |
| 利益剰余金               | 6,692                   | 6,890               |
| 自己株式                | △ 8                     | △ 8                 |
| その他の包括利益累計額         | 888                     | 595                 |
| 少数株主持分              | 239                     | 200                 |
| 純資産合計               | 17,207                  | 17,072              |
| 負債・純資産合計            | 27,210                  | 25,896              |

(注) 当期の連結子会社は14社、持分法適用会社は1社であります。

## ○ 四半期連結損益計算書 (要旨)

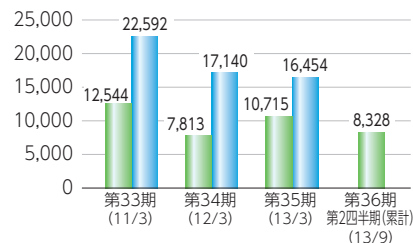
(単位: 百万円)

| 科 目             | 当第2四半期(累計)<br>2013年4月1日から<br>2013年9月30日まで | 前第2四半期(累計)<br>2012年4月1日から<br>2012年9月30日まで |
|-----------------|---|---|
| 売 上 高           | 8,328                                     | 10,715                                    |
| 売 上 原 価         | 6,247                                     | 6,954                                     |
| 売 上 総 利 益       | 2,080                                     | 3,760                                     |
| 販売費および一般管理費     | 2,013                                     | 2,177                                     |
| 営 業 利 益         | 67  | 1,582                                     |
| 営 業 外 収 益       | 92  | 89  |
| 営 業 外 費 用       | 59  | 148                                       |
| 経 常 利 益         | 100                                       | 1,523                                     |
| 特 別 利 益         | 12  | 95  |
| 特 別 損 失         | 8   | 7   |
| 税金等調整前四半期純利益    | 104                                       | 1,612                                     |
| 法 人 税 等         | 37  | 136                                       |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 66  | 1,475                                     |
| 少 数 株 主 利 益     | 14  | 7   |
| 四 半 期 純 利 益     | 52  | 1,468                                     |

# 連結財務ハイライト

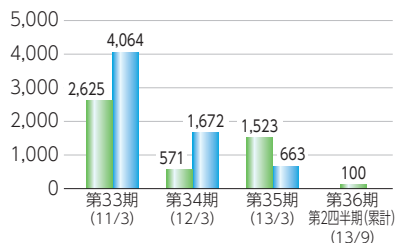
## 売上高

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



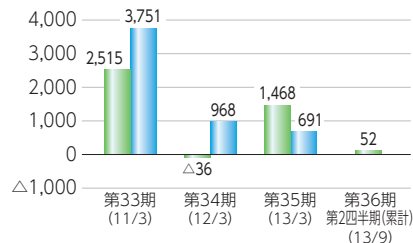
## 経常利益

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



## 四半期(当期)純利益

第2四半期(累計) 通期 (単位:百万円)



### TOWAギャラリー開設 —創業者イズムの継承—



「原点に回帰し、TOWAのものづくりの真髄である創業者イズムを次世代へ継承する」ことを目的としたTOWAギャラリーを本社メインエントランスに開設いたしました。創業時の思いを詠んだ創業者

揮毫の漢詩や、宇治平等院鳳凰堂本尊の阿弥陀如来像とモジュール・システム金型とのえにし等、当社発展の礎を展示・紹介しております。

TOWAが半導体生産装置のリーディングカンパニーであり続けるために、創業時の思いや精神を共有し、TOWAの真（まこと）の価値、つまり「ものづくり」に全社員一丸となって邁進してまいります。



### 中国市場向け新製品の投入

中国市場のお客様の特性やご要望、市場での競合環境などを徹底的に調査し、「マーケットイン型」の発想で開発した『YLC-1120』を市場投入いたしました。

『YLC-1120』は機能やオプション対応は限定されますが、製品の生産性や品質は高水準を維持したまま、お客様が初期投資を抑えることが可能な製品価格となっており、中国市場での注目度が高まっております。



▲YLC-1120

## 会社の概要 (2013年9月30日現在)

|        |   |
|--------|---|
| 商号     | TOWA株式会社<br>(英文名 TOWA CORPORATION)                                  |
| 設立     | 1979年4月17日  |
| 資本金    | 8,932,627,777円  |
| 本社所在地  | 京都市南区上烏羽上調子町5番地<br>☎ (075) 692-0250 (代表)                            |
| 従業員数   | 442名  |
| ホームページ | <a href="http://www.towajapan.co.jp">http://www.towajapan.co.jp</a> |
| 上場取引所  | 東京証券取引所市場第一部  |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 役員 | 代表取締役会長<br>代表取締役社長<br>専務取締役<br>常務取締役<br>常務取締役<br>取締役執行役員<br>取締役<br>取締役<br>執行役員<br>執行役員<br>執行役員<br>常勤監査役<br>監査役<br>監査役 | 坂岡天小福浦田桑石岸中小杉和<br>東田川西富上村木田本村林山氣<br>和博久吉耕昌久公大<br>彦和剛二誠浩住肇一利尚芳律輔 |
|----|---|---|

## 株式の状況 (2013年9月30日現在)

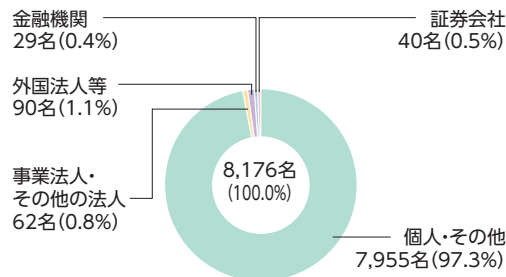
- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 25,021,832株
- 株主数 8,176名
- 大株主

| 株主名  | 持株数     | 持株比率   |
|--|---------|--------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社                                       | 4,074千株 | 16.29% |
| 有限会社ケイビー恒産   | 2,000   | 8.00   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社   | 1,908   | 7.63   |
| 坂東和彦株式会社   | 1,555   | 6.22   |
| 株式会社京都銀行   | 699     | 2.80   |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社   | 622     | 2.49   |
| 野村信託銀行株式会社   | 621     | 2.48   |
| 有限会社ケイビーテクノ  | 500     | 2.00   |
| 山田矩規子  | 460     | 1.84   |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800 | 414     | 1.66   |

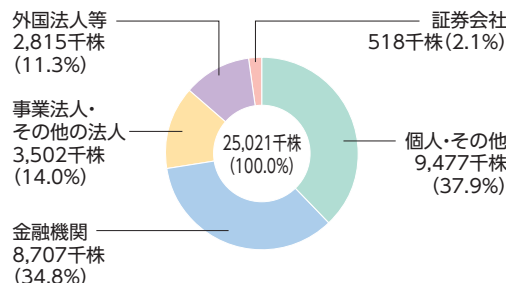
(注1) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社および野村信託銀行株式会社の持株数は信託業務に係るものです。

(注2) 持株比率は、自己株式(10,179株)を控除して計算しております。

### 所有者別株主数分布



### 所有者別株式数分布



## TOWAグループ (2013年9月30日現在)

### 国内

#### TOWA株式会社

本社・工場 京都東事業所  
坂東記念研究所 九州事業所  
東京営業所

#### 株式会社バンディック

#### TOWATEC株式会社

#### 株式会社サーク

### 海外

#### TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)

#### TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)

#### TOWA Semiconductor Equipment Philippines Corp. (フィリピン)

#### TOWA USA Corporation (米国)

#### TOWA Europe GmbH (ドイツ)

#### 東和半導体設備(上海)有限公司 (中国)

#### 上海沙迪克軟件有限公司 (中国)

#### TOWA半導体設備(蘇州)有限公司 (中国)

#### 蘇州STK鑄造有限公司 (中国)

#### 台湾東和半導体設備股份有限公司 (台湾)

#### 巨東精技股份有限公司 (台湾)

#### TOWA韓国株式会社 (韓国)

#### 株式会社東進 (韓国)

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会 毎年6月

基準日 株主総会権利行使および期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区曽根崎二丁目11番16号  
みずほ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部  
※本年12月24日より、事務取扱場所が以下の通りとなります。  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物の郵送先及び 〒168-8507東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社証券代行部  
☎0120-288-324 (フリーダイヤル)

未払配当金のお支払 みずほ信託銀行本店および全国各支店  
みずほ銀行本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります。)

公告方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。公告掲載URL <http://www.towajapan.co.jp>